

漁場整備の計画は

水揚げ所得向上への施策を

なかじま いちろう 議員
中島 一郎 議員

答 土居 海洋森林課長

第1期計画から取り組んできた町内の各漁港、漁法の状況に応じて新規就業者の確保を基本施策とし、現状課題となつて

問 新たに第2期黒潮町創生基本計画（令和2～6年度）が策定された。これまでの漁場整備計画では「漁業生産量の維持・確保するために、沿岸域に各魚礁の設置による漁場造成を図る」ことをしっかりと記述していたが、今回は残念なことに削除されている。

これからの取り組みは、また、国・県主体のフロンティア漁場整備事業の計画は、どのように把握しているか。

たな浮魚礁を設置するというもの。

ふるさと納税

寄付額増の

要因は

テレビ放送の影響か

問 昨年6月には、自治

体間での過度な返礼品の競争意識が高まったことを受けて、国の新しい制度・規制がされた中でも2018年度の寄付総額は約2億5725万円から2019年度寄付総額は約7億1328万円と約2・8倍となつている。この要因と現在の事業者・返礼品数は。

また創生基本計画では、2024年度の目標額は10億円に設定されているが、この根拠は。

答 門田 産業推進室長

寄付額が大きく伸びた要因は、昨年6月に町内の事業者が全国のテレビに取り上げられたことが最大の要因と考えられる。

テレビ放送による影響力の大きさを実感する結果となった。

事業者数は、64事業者、返礼品数は302品である。

令和6年度の目標値10億円への取り組みは、継続的なつながりを持つファンづくりを目指すために、寄付金の使途の明確化を行い、地域活性化に役立っていることのPR。新たな寄付者獲得に、魅力的な画像づくりやページの作り込み、サイ

ト広告の活用などに取り組む。

防災対策

漁業集落整備の計画は

町分地区を計画予定

問 田野浦地区の避難路整備は、今年度事業で終了予定か。

その後の漁業集落環境整備事業として、町分地区の排水整備・水路改修等の計画はできないか。

答 土居 海洋森林課長

田野浦地区では避難路と防災安全施設整備を進め、本年度発注工事分完了予定となる。

町分地区では水路の整備や雨水排水ポンプの設置、避難経路の拡充等の計画を予定している。

今年度中に全体概略調査、来年度に基本計画の策定を行い、順調に進めば事業実施期間として4カ年程度を想定している。

【その他の質問事項】
・新型コロナウイルス対策について



漁業集落環境整備事業の計画予定区域（町分地区）